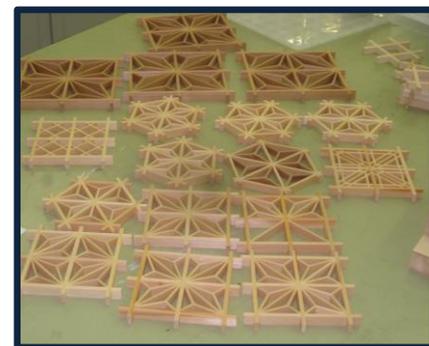


☆建築科1年生の授業☆

1年生工業技術基礎(建具～組子をつくる)授業

1年生では初めての実習科目で、建具マイスターであり、現代の名工である友國先生と杉村先生から指導を受けました。先生方より「かな」について学び、「かな」の使い方を直接教わり、使わせていただきました。先生は、簡単に「かな」を引いているように見えました。生徒たちは、「かなの持ち方、体の姿勢、手の使い方」などを注意されていました。初めて使った「かな」の引きの軽さと薄い「かなくず」の美しさに驚きました。



↑友國先生・杉村先生の組子見本



友國先生が作られた角棒を丸棒にする「かな」を使わせてもらいました。使いたい道具を自分でつくることができました。



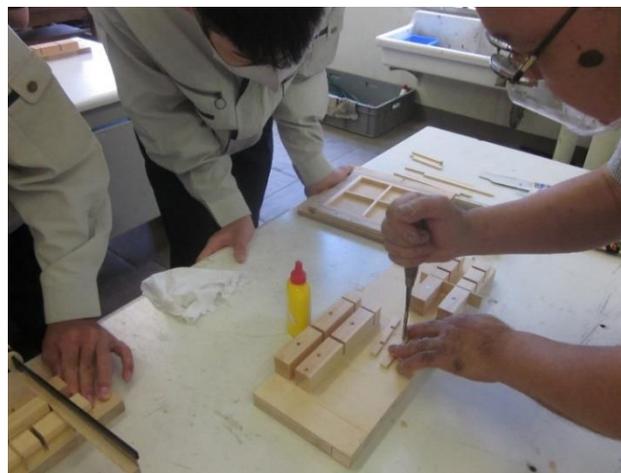
先生が引くのかぎりの音に、耳をすませます。自分が使うときも、同じ音になるように覚えました。



うまくいかないところを先生にみてもらい、どのように直したら良いかをききました。



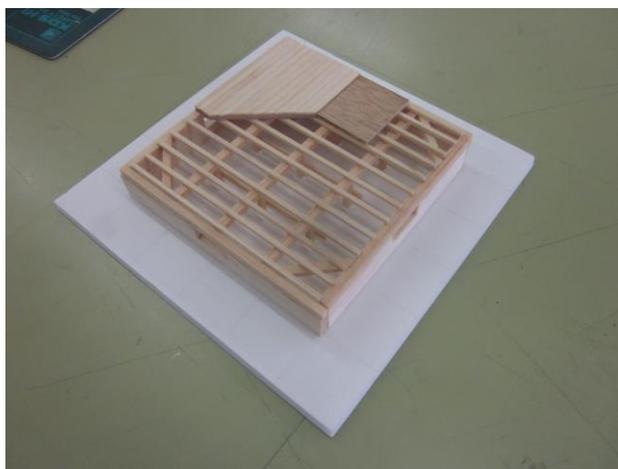
先生の「鑿(のみ)」の使い方を見ました。次回の授業で完成を目指します。



☆建築科2・3年生の授業☆

選択建築構造「木造住宅軸組模型」

木造住宅の構造を理解するために、軸組模型を作っています。



選択建築計画「CAD」

コンピュータを使って図面をかきます。安藤忠雄先生設計の「住吉の長屋」の模型図面をかいています。



3年実習「鉄筋コンクリート構造 型枠」

前回の鉄筋実習に続いて、型枠のマイスターから、堅固な鉄筋コンクリートの柱・はり・壁の形をつくるための型枠をつくり、型枠の建て込みとコンクリートを流し込んだ時に型枠が動かないために固定する方法を学びます。

